

独立行政法人国立がん研究センター理事会（第2回）議事録

日時 平成22年4月26日（月）13:00～14:20

場所 独立行政法人国立がん研究センター第1会議室

出席者 嘉山孝正理事長 新井一理事 岩坪威理事 長崎武彦監事 久道茂監事
境田正樹理事長特任補佐

議事概要

1. 理事構成について

- ・新井理事には臨床・広報・施設、岩坪理事には研究・評価、町田理事には経営・業務改善を担当いただき、教育・国際交流担当及び法務・労務担当の理事は未定だが、法務・労務関係は境田理事長特任補佐に相談している旨の説明があった。
- ・理事会は、原則、金曜日に開催し、当面は、月1回の開催とすることとし、理事会規程案を修正することとなった。

2. 病院状況報告について

- ・平成21年度の実績について説明するとともに、今後は新たなスタイルで報告させることとなった。

3. 病院の組織改編について

- ・病院組織について、部長制から科長制に組織を再編し、科長会議を設け、科長会議メンバーから5名の副院長を選任する方針について了承された。

4. 看護部の組織改編について

- ・副看護部長を4名体制とし、人事・労務担当、業務担当、教育担当、医療安全担当を分担させる方針について了承された。

5. 研究所の組織改編について

- ・現在は兼業となっている中村祐輔研究所長について、一日も早く専任になることを希望するとの意見があった。

6. 各委員会の構成原則の変更について

- ・各委員会について、機能しているかどうかを把握した上で、一年間かけて統廃合していく方針について了承された。

7. 財務諸表について

- ・設立時の貸借対照表及び予定損益計算書（22年度～26年度）について説明があり、現業部門は効率化係数を外すべきではないか、運営交付金は今後減少していくので医業収益等を上げて収入を増やす必要があるとの意見があった。

8. 東病院の体制について

- ・現在は7対1看護体制ができていないが、今後は東病院の改革をしていくとの説明があった。

9. がん研究振興財団について

- ・敷地内にある国際研究交流会館について、管理運営業務を委託しているがん研究振興財団との契約内容の適正化、土日も含めた会館利用者増大のための営業活動の必要性について説明があり、了承された。
- ・これまでは国の機関のため寄付金を直接受け入れることができず、財団に紹介していたが、独立行政法人化に伴い、今後はセンターが直接寄付金を受けられることから、寄付金受入規程を作り、積極的に寄付金を受け入れていく方針について了承された。

10. 施設整備委員会について

- ・センター内の施設整備については、施設整備委員会を設置して進めていくことについて了承された。

11. アクションプラン作成の進捗状況について

- ・全医長、室長を対象に中期計画を踏まえた年度計画（アクションプラン）の意見を求めており、次回の理事会に諮るとの報告があった。

12. 6センター合同のアジェンダについて

- ・国の最先端医療の研究開発の中心的な役割を担うため、6センター共通で取り組んでいく諸課題（アジェンダ）についての説明があり、当センターから他のセンターに提案していくことが了承された。